



NOK株式会社 (証券コード 7240)

第113期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

株主の皆様へ



取締役会長 鶴 正登 取締役社長 土居 清志

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

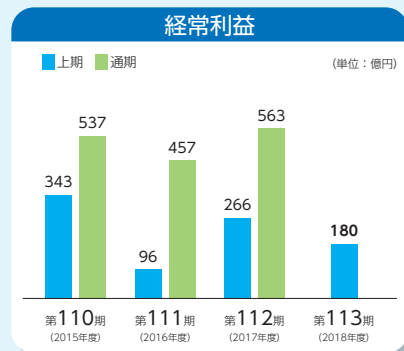
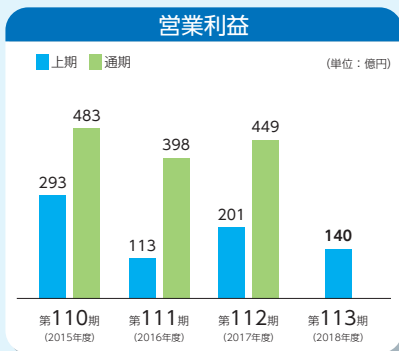
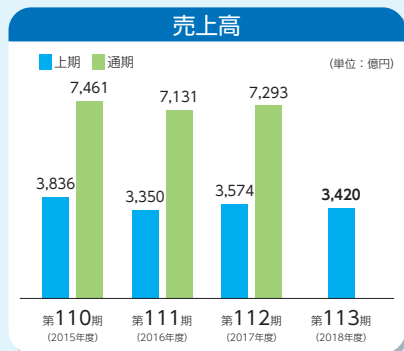
ここに、当社グループの第113期上期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の中間報告書をお届け申しあげ、当上期の業績につきご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

当社グループは、経営の基本として「技術に裏打ちされた独自性ある、かつ社会に有用な商品を世界中で安くつくり適正価格で売る」ことにより高い収益力を持つ強い企業集団をつくりあげることが重要と考え、この考えに基づき事業経営を展開しております。

当上期の当社グループを取り巻く経営環境については、国内においては、設備投資の増加が続いており、西日本豪雨等の自然災害はあったものの、景気は緩やかな回復基調を維持しています。海外においては、米国は堅調に推移しています。中国は米国との貿易摩擦の影響から減速感がみられ始めています。

こうした状況の下、当社グループは将来を見据えて持続的に成長発展していけるよう、各種施策を推進してまいりました。

財務ハイライト（連結）



(注1) 財務ハイライト（連結）に記載の金額は、表示単位未満を四捨五入しております。

(注2) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当期首から適用しており、前期の金額について



当上期の連結業績といたしましては、売上高は3,420億2千9百万円（前年同期対比4.3%の減収）、営業利益は140億4千万円（前年同期対比30.1%の減益）、経常利益は180億3千6百万円（前年同期対比32.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96億5千万円（前年同期対比40.6%の減益）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、国内は引き続き緩やかな回復を続けていくとみられますが、米中貿易摩擦の影響等による中国経済の成長鈍化等の先行き不透明感があり、世界経済は予断を許さない状況であります。

シール事業では、国内では、新型車投入効果は一巡しましたが、軽自動車の需要は引き続き回復傾向を示しています。海外では、北米の需要は堅調に推移していますが、中国は需要の減速感がみられ始めています。また、タイでは景況回復により需要は好調に推移しています。その中で、海外の競合他社との競争激化が見込まれるため、営業・生産・技術一体となり、拡販の推進、最適地生産による生産体制の効率化に取り組むとともに、品質の向上についても引き続き取り組んでまいります。

電子部品事業では、HDD向けの需要は、引き続き減少傾向が続くと予想されます。スマートフォン市場につい

ては、堅調に推移しましたが、需要に不安定さがみられます。これらに対応するべく、生産工程の自動化による生産体制の効率化、および自動車用途の更なる拡大に取り組んでまいります。

ロール事業では、事務機市場の成熟化により、生産台数は前年対比横ばいで推移しましたが、更なる成長鈍化が見込まれます。これらに対応するべく、営業・技術一体による競争力の向上により拡販を図るとともに、経営効率をより一層高めて収益力の向上を図ってまいります。

これらの施策を着実に実行して、持続的な成長を目指し、全グループ一丸となって邁進してゆく所存であります。

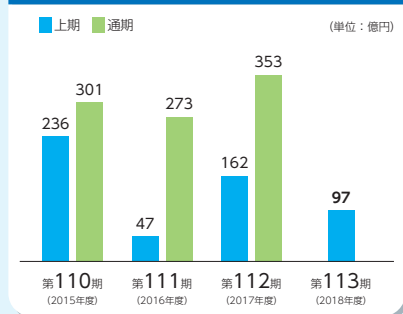
なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき25円とすることといたしました。

以上、当社といたしましては、今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、鋭意努力してまいります所存であります。

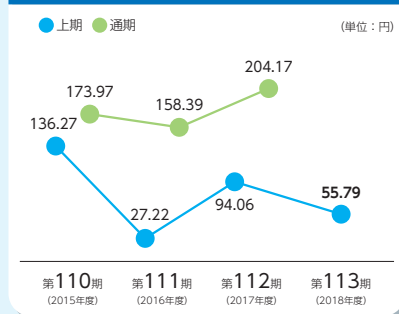
株主の皆様におかれましては、当社グループを取り巻く環境と経営の方向、さらには私どもの決意の程に深くご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

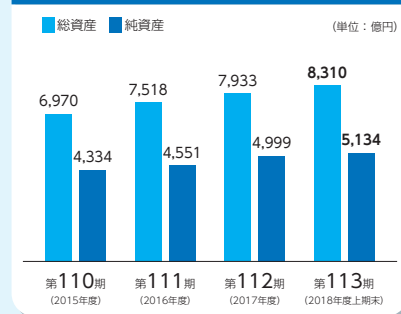
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



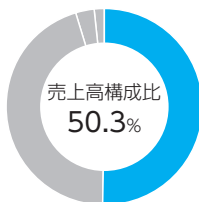
1株当たり上期(当期)純利益



総資産／純資産



ては、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。



シール事業

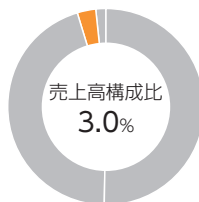
売上高	1,718億73百万円
前年同期対比	4.8% ↑
営業利益	183億63百万円
前年同期対比	4.0% ↑

自動車向けについては、国内での軽自動車の需要回復が継続し、東南アジアでの需要も好調に推移したことにより、販売は増加しました。一般産業機械向けについては、建設機械、工作機、ロボット向けが好調に推移したことにより、販売は増加しました。



オイルシール

その結果、売上高は1,718億7千3百万円（前年同期対比4.8%の増収）となりました。営業利益は、人件費・経費の増加、原材料の高騰等により、183億6千3百万円（前年同期対比4.0%の減益）となりました。



ロール事業

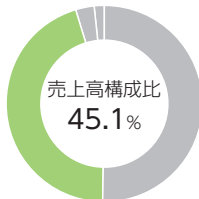
売上高	103億98百万円
前年同期対比	0.8% ↓
営業利益	52百万円
前年同期は8百万円の営業損失	

事務機向けの需要はほぼ横ばいに推移し、金融、繊維機械向けの需要は伸びましたが、為替影響により販売は減少しました。

その結果、売上高は103億9千8百万円（前年同期対比0.8%の減収）となりました。営業利益は、経費の抑制等により、5千2百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。



現像ロール・帯電ロール



電子部品事業

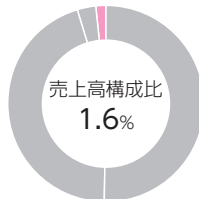
売上高	1,542億83百万円
前年同期対比	13.1% ↓
営業損失	50億88百万円
前年同期は3億1千1百万円の営業利益	

自動車向けの需要が好調に推移しましたが、高機能スマートフォン向けの需要が減少したことから販売が減少しました。



フレキシブルサーキット (FPC)

その結果、売上高は1,542億8千3百万円（前年同期対比13.1%の減収）となりました。営業損失は、減収により、50億8千8百万円（前年同期は3億1千1百万円の営業利益）となりました。



その他事業

売上高	54億74百万円
前年同期対比	2.2% ↑
営業利益	7億8百万円
前年同期対比	13.5% ↑

特殊潤滑剤等のその他事業では、売上高は54億7千4百万円（前年同期対比2.2%の増収）となりました。営業利益は、7億8百万円（前年同期対比13.5%の増益）となりました。



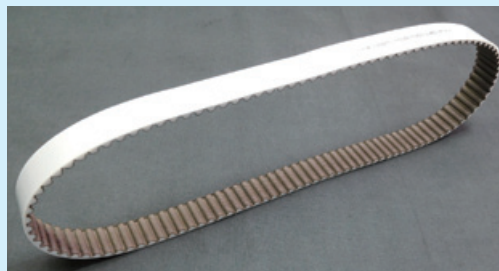
特殊潤滑剤



歯面低 μ 布張りベルト Low-Friction CONCEPT

本コンセプトモデルは、更なる速度・荷重アップという高負荷対応へのニーズに応えるべく開発された歯面布張りベルトです。大手繊維メーカーとベルト歯面の布素材を共同開発し、摩擦係数低減を実現しました（繊維メーカーと共同で特許出願中）。

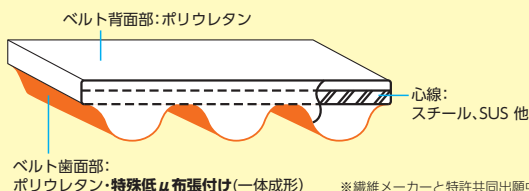
低撓動化により、高い耐久性のみならず、消費電力の低減・生産性向上とともに静音性を実現し、環境面にも配慮した製品を提供してまいります。



歯面低 μ 布張りベルトのメカニズム

製品構造

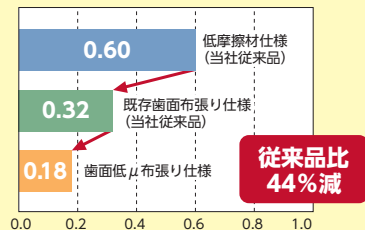
ベルト歯面の布素材に着目
繊維メーカーと特殊低 μ 布を共同開発※



摩擦係数評価

既存布張り仕様対比
▶ **44%低減**

低摩擦材仕様対比
▶ **70%低減**



半導体製造時の移動用ベルトに

低撓動化によるスムーズな動きで低騒音・低振動。従来品よりも高速での使用が可能となり、生産性向上に寄与します。



多軸ロボットのアーム部に

低トルク化による消費電力の低減のほか、スムーズな撓動により、耐久性の向上を実現。メンテナンス回数の減少にも寄与し、作業ロスを低減します。



駅ホーム柵(ドア)駆動用に

高負荷対応のため、ベルト駆動が見送られていたホーム柵でも採用が可能となりました。また、ユニット本体の軽量化を実現し、低撓動化による消費電力の低減にも寄与します。





会社概要

(2018年9月30日現在)

商 号	NOK株式会社 (英文 NOK CORPORATION)
本 社 所 在 地	〒108-0073 東京都港区三田3丁目13番12号 三田MTビル (登記上の本店所在地 東京都港区芝大門1丁目12番15号) 電話 03 (3432) 4211 ホームページアドレス http://www.nok.co.jp
設 立	昭和14年12月2日
資 本 金	23,335百万円
従 業 員 数	3,365名 (当社グループの従業員数：43,636名)
主要な事業所	支 店 仙台、水戸、宇都宮、熊谷、東京、松本、 多摩、神奈川、富士、浜松、安城第一、 安城第二、名古屋、大阪第一、大阪第二、 広島、福岡 事業場 福島、二本松、北茨城、静岡、鳥取、熊本 研究所 湘南開発センター (藤沢)、 東海環境技術開発センター (東海)

取締役・監査役および執行役員

(2018年10月1日現在)

取締役	監査役
取締役会長 鶴 正 登	常勤監査役 藤 井 雅 信
取締役社長 土 居 清 志	常勤監査役 森 良 次
専務取締役 飯田 二郎	監査役(社外) 小 林 修 樹
専務取締役 黒木 渡 邊 安 彦	監査役(社外) 小 川 秀 樹
専務取締役 長澤 晋 治	監査役(社外) 梶 谷 篤
取締役 小林 俊 文	
取締役(社外) 法眼 健 作	
取締役(社外) 藤岡 誠	
執行役員	
常務執行役員 沢 木 新 一	執行役員 柳 本 剛
常務執行役員 矢 野 武 臣	執行役員 樋 本 章 治
常務執行役員 中 村 哲 也	執行役員 小 林 正 信
常務執行役員 黒 木 雄 一	執行役員 中 山 富 雄
常務執行役員 藤 本 和 彦	執行役員 折 田 純 一
常務執行役員 菅 谷 良 裕	執行役員 鎌 田 浩
常務執行役員 高 橋 則 幸	執行役員 齋 藤 慶 胤
執行役員 山 崎 幸 夫	執行役員 石 田 光 弘
執行役員 山 下 博 史	

主要なグループ会社

シール事業

【主要製品】
オイルシール
Oリング
防振ゴム
樹脂加工品
ガスケット
化学合成品
メカニカルシール

ユニマテック株式会社 (茨城県北茨城市)
NOKエラストマー株式会社 (福岡県嘉麻市)
フガク工機株式会社 (静岡県菊川市)
佐賀シール工業株式会社 (佐賀県嬉野市)
タイNOK Co.,Ltd. (タイ チョンブリー県)
無錫NOKフロイデンベルグCo.,Ltd. (中国 江蘇省無錫市)
NOKアジア Co.,Pte.Ltd. (シンガポール)
関西NOK販売株式会社 (大阪府大阪市)
NOKフロイデンベルググループセールスチャイナCo.,Ltd. (中国 上海市)

電子部品事業

【主要製品】
フレキシブルサーキット
プレジジョンコンポーネント

日本メクトロン株式会社 (東京都港区)
メクテックCorp. 台湾 (台湾 高雄市)
メクテックマニファクチャリングCorp.タイLtd. (タイ アユタヤ県)
メクテックマニファクチャリングCorp.珠海Ltd. (中国 広東省珠海市)
メクテックマニファクチャリングCorp.蘇州Ltd. (中国 江蘇省蘇州市)
メクテックマニファクチャリングCorp.ベトナムLtd. (ベトナム フンイエン省)
メクテックプレジジョンコンポーネント タイLtd. (タイ アユタヤ県)
メクテックCorp. 香港Ltd. (中国 香港)

ロール事業

【主要製品】
事務機用ロール製品

シンジータック株式会社 (神奈川県横須賀市)
久喜ロール工業株式会社 (埼玉県 久喜市)
シンジータックベトナムCo.,Ltd. (ベトナム ハイフォン市)
シンジータック香港Co.,Ltd (中国 香港)

その他事業

【主要製品】
特殊潤滑剤
その他

NOKクリューバー株式会社 (茨城県北茨城市)



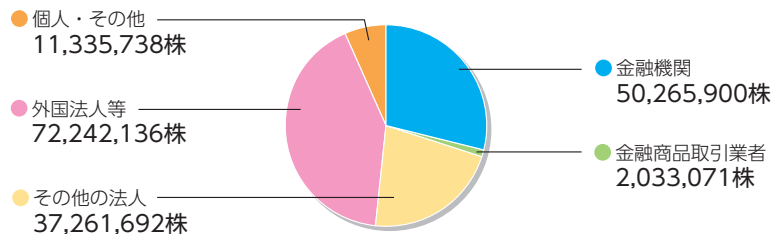
株式の状況

(2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 600,000,000株
- 発行済株式の総数 173,138,537株
- 株主数 9,467名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
フロイデンベルグ・エス・エー	43,457	25.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9,238	5.3
正和地所株式会社	8,773	5.1
第一生命保険株式会社	8,000	4.6
トヨタ自動車株式会社	6,809	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,617	3.2
株式会社三井住友銀行	4,270	2.5
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,036	1.8
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	3,000	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,095	1.2

所有者別株式数





事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先（注）	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nok.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います)
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部 略称：NOK（コード7240）

ホームページのご案内

当社の決算情報をはじめ、当社をより理解していただくための
さまざまな情報を掲載しております。

<http://www.nok.co.jp/ir/>

NOK IR

検索

トップページ



IR情報



【お知らせ】

1. 住所変更等のお手続きについて

- (1) 株主様の住所変更等各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設された口座管理機関（証券会社等）で承ります。お手続きの詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください（株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください）。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

2. 単元未満株式の買取ご請求について

株主様が所有されている単元未満株式（100株未満の株式）につきましては、証券市場での売買ができない等制約がございます。単元未満株式は、当社に対し時価で売却（買取請求）できますので、ご希望の株主様は次の通りお問い合わせください。

- (1) 証券会社等の口座に記録された単元未満株式の買取請求手続き・手数料等の詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
- (2) 特別口座に記録された単元未満株式は、当社所定の手続きにより時価で売却（手数料無料）することができます。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

3. 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

4. 株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係手続きで必要となります。このため、株主様からマイナンバーをお届出いただく必要があります（お問い合わせ先は「1. 住所変更等のお手続きについて」と同様になります）。